

現場・市民 目線で市政チェック。
「いいね！」あふれる大和に。

討議資料

発行元：小田博士後援会

平成27年5月 vol.001-2

後援会にご加入ください

おだひろし 大和市議会議員
元産経新聞記者

小田博士の 市政かわら版



環境建設委、議運委、基地対策特別委…

臨時議会で所属委員会決定



議長・副議長や各委員会の正副委員長人事などを決めるための臨時議会在5月8日、開かれました。私にとっては初めての本会議出席です。

私は最初の1年間は、環境建設常任委員会と議会運営委員会、基地対策特別委員会に所属することにしました。審議会や審査会をはじめとした「附属機関」については、社会福祉協議会評議員、交通安全対策協議会委員、議会報編集委員会委員に就きます。

全市的に取り組みたいテーマが多いのは文教市民経済常任委員会ですが、議事に慣れてからの方がよいらと判断し、初年度は環境建設委としました。正式に委員会に所属していなくても、「委員外議員」として出席できる（大和市議会の場合は発言も可能です）ので、他の委員会にはそのような形で参加していきたいと思えます。

「自民党・新政クラブ」が最大会派に

私が所属する会派は、自民党公認7人と保守系無所属3人の計10人で構成される「自民党・新政クラブ」です。自民党公認の議員が増えたため、旧「新政クラブ」から名称が変わりました。

市議会にはこのほか、公明党（5人）、日本共産党（4人）、明るいまらい大和（4人）、虹の会（3人）、神奈川ネットワーク運動（2人）があり、全部で6会派となります。自民党・新政クラブと公明党を合わせると計15人となり、市議会（定数28）の過半数を占めます。重い責任を持つ立場です。

新人議員研修や視察に参加

5月13～15日の3日間、新人議員を対象にした研修や視察に参加し、市の財政や基地対策、芸術文化ホールなどの諸問題についてレクチャーを受けました。また、市環境管理センターや市立病院なども視察しました。

2493票の重み

小田は4月26日投開票の大和市議選で2493票を得て、全36人の立候補者のなかで10番目で初当選しました。皆様方のご支援の賜物だと肝に銘じ、議会活動に邁進する考えです。大和市を良くすることが、神奈川県、ひいては日本国全体の活性化につながると信じます。

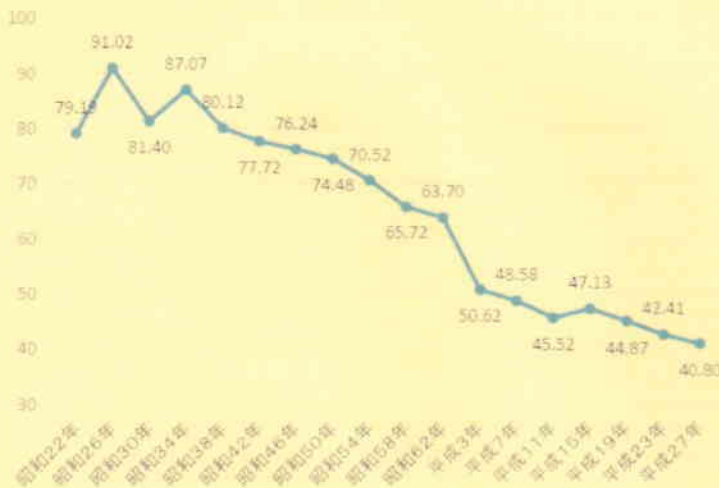
選挙戦を通じて、産業空洞化の脱却、待機児童の削減、学力向上などを訴えてきました。これらの政策課題も、真剣かつ着実に取り組んでいきたいと思えます。

3 候補者別得票数（上から得票数順）

当選の順	候補者氏名 (通称)	党派	現職	得票数
当	古谷田 力	民進党	現	3724,000
当	小倉 たか子	自由民主党	現	3167,000
当	吉本 和明	自由民主党	新	2932,000
当	小田 博士	公明党	新	2748,000
当	山崎 さゆき	神奈川県 すまいる クラブ	新	2740,000
当	よしざわ 宏	公明党	現	2653,000
当	青木 まさし	無所属	現	2622,000
当	中村 二夫	自由民主党	現	2578,000
当	新田 せいじ	無所属	現	2559,000
当	小田 博士	自由民主党	新	2493,000
当	りふた 慶	公明党	現	2136,000
当	長藤 まさのり	無所属	現	2116,280

市議選投票率は最低の40.80%

大和市議選の投票率推移



市議選の投票率は、4割台をかうじて保ったものの、東日本大震災の直後だった4年前の前回は1.61ポイント下回る40.80%となり、過去最低でした。このまま投票率低下の傾向が続けば、民主主義そのものが危うくなってしまいます。

市政は、身近で重要であるにもかかわらず、何をしているのか分かりにくい側面があります。皆様に市政に関心を持ってもらえるよう、丁寧で分かりやすい発信に務めます。

◆プロフィール

昭和50年1月5日生まれ
大和市出身／上和田在住

- 昭和56年 高座みどり幼稚園卒園
- 62年 西鶴間小学校卒業
- 平成2年 南林間中学校卒業
- 5年 中央大学附属高校卒業
- 10年 上智大学経済学部卒業
- 26年 産経新聞社を自ら退社
- 27年 大和市議に初当選

◆産経新聞記者時代の略歴

東京本社・整理部→千葉総局（県警や県政）→社会部（文部科学省や司法）→政治部（首相官邸や自民党、公明党、民主党、防衛省など）

※主に取り組んだのは国政、地方行政、教育など※

◆趣味・特技

テニス、カラオケ、居合道3段

公職選挙法は当選後の御礼や挨拶にも制限を加えています。何卒、ご理解のほどお願い申し上げます。